

活動名称 (40字以内)	アラブ首長国連邦の「いま」													
団体名等	東京大学GS+I総括寄付講座 UAE(アラブ首長国連邦)赤門会													
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順											
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査											
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接											
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		6 人											
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動													
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動														
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う													
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない													
参加資格等	・学部前期・後期課程学生(英語による解説が理解でき、英語が公用語であるUAEの大学で学生と交流できる程度の英語力を有すること)・日本国籍所有者													
活動期間	2023/9/9(土) ~ 2023/9/18(月)	主な活動予定場所	アラブ首長国連邦・アブダビ首長国(アブダビ市、アルアイン市)、ドバイ首長国											
	10日間													
目的	化石燃料の輸出に依存する経済から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源に関わる技術開発を進めつつあるアラブ首長国連邦(UAE)の「いま」を、単に側聞するのではなく、身を以て体験して学ぶ。													
具体的な内容 (800字程度)	<p>世界最高の超高層ビルや世界最大の人工島など、アラブ首長国連邦(UAE)の砂漠に突如出現した「沸騰都市」ドバイは、世界中からの投資を取り込み、急成長を遂げている。UAEの首都である「石油都市」アブダビは、その近代性、安全性、快適性により、世界的にも高い評価を受けている。アブダビ首長国とドバイ首長国は、共に大規模な太陽光発電所を推進しており、再生可能エネルギー源への転換を図っている。ドバイ郊外に建設された「サステイナブル・シティー」は低エミッションを志向する新しい街として注目を集めている。</p> <p>本プログラムは、化石燃料の輸出から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源に関わる技術開発を進めつつあるUAEの「いま」を、単に側聞するのではなく、その実情を、身を以て体験して学ぶことを目指している。それは、本学の学部生にとっては、中東の近代国家UAEという未知の世界との接触であると共に、自分の将来の選択肢に通じる体験でもある。</p> <p>本プログラムに参加する学生は、ドバイとアブダビにある日系の諸機関を訪問し、そこで働いている、本学のOB/OG等との交流を通じて、日本人がUAEで働くことの意味を実感する。アブダビ首長国には最先端の技術開発を担う「ハリファ大学(KU)」があり、本学とは学生および教員の交流を実施している。本プログラムに参加する学生はKUの研究者や学生と交流し、エネルギー開発に携わっている専門家の話に耳を傾ける。ドバイ首長国では日本企業がUAEで行っている様々な活動を学び、太陽光発電所や「サステイナブル・シティー」を訪問する。更には、UAEのルーツである古都「オアシス都市」アルアインを訪れ、オアシスに赴きその実態を観察すると共に、王家の人々が学ぶ名門校「UAE大学(UAEU)」の学生と交流する。</p>													
備考	<p>【問い合わせ先：今泉】 imaizumi@hotaka.t.u-tokyo.ac.jp</p> <p>・日本国籍の所有者のみが応募できる(本プログラムの実施に適用する外部資金からの制約)。          ・主催団体より2名がプログラムの実施全期間について同行する。本プログラムは「UAE(アラブ首長国連邦)赤門会」の全面的な支援と、安全に関する(現地に在住する日本人の観点での)助言を得て実施する。UAEでは外務省による危険情報は発出されていないが、在UAE日本大使館による「安全の手引き」を全参加者に配布して、その遵守を徹底することで安全な行動を担保する。</p> <p>・現地でのコロナ感染により、空港までの移動が制限される場合の交通費は自己負担とする。また、渡航中における体調不良により予定通りに帰国出来ない場合及び救援・救護が必要になった場合は、家族が速やかに現地に赴く必要がある。引率者は家族が到着する迄のみ対応する。</p>													
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載												
	<table border="1"> <tr> <td>交通費</td> <td>150,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>80,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>現地交通費</td> <td>実費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>230,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	交通費	150,000	円	宿泊費	80,000	円	現地交通費	実費	円	計	230,000	円	<p>プログラムが指定する航空便により成田空港とアブダビ/ドバイ国際空港間を往復する。国内の居住地と成田空港間の交通費、現地におけるバスによる移動経費(現金500AEDを現地で徴収)、現地の市内で公共交通およびタクシー等で移動する為の交通費、現地での宿泊費と食費、博物館等の入場料は参加者の自己負担とする。          左記の航空券代金、宿泊費及び現地交通費は見積額であり、実施時点では大きく異なる場合がある。</p>
交通費	150,000	円												
宿泊費	80,000	円												
現地交通費	実費	円												
計	230,000	円												
		奨励金額	活動後に算出											
ウェブサイト等	東京大学GS+I総括寄付講座: <a href="http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/">http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/</a> Khalifa University: <a href="http://www.ku.ac.ae/">http://www.ku.ac.ae/</a> UAE University: <a href="https://www.uaeu.ac.ae/en/">https://www.uaeu.ac.ae/en/</a> Sustainable City in Dubai: <a href="https://www.thesustainablecity.ae/">https://www.thesustainablecity.ae/</a> 過去に実施した際の写真等: <a href="https://nakayama532.wixsite.com/website">https://nakayama532.wixsite.com/website</a>													